

《 夢のように
可愛らしい 》

梅雨入り前に、駆け込みで リナリア 見頃 です

国営ひたち海浜公園では、大草原フラワーガーデンにてリナリアが見頃を迎えています。金魚の尾びれのような花を咲かせることから、「ヒメキンギョソウ（姫金魚草）」とも呼ばれ、初夏の風にそよぐ姿は、パステルカラーの金魚たちが泳いでいるかのよう。6月10日頃までお楽しみいただける見込みで、梅雨入り間近の園内を可憐に彩っています。



大草原フラワーガーデンのリナリア（2021年5月31日撮影）

◆絵本のようなパステルカラーの花畑

リナリアは、オオバコ科ウンラン属の一年草。北半球の温帯地域原産で、日本へは明治時代の末期に渡来しました。草丈は30cm程度で、小さな花を長く伸びた花茎にたくさんつけます。花色豊富で、紫・ピンク・黄・白・赤がミックスされた花畑は、水彩絵の具で描かれた絵本のような美しさです。

場所：大草原フラワーガーデン 本数：約40万本 面積：約3,600㎡ 見頃時期：6月上旬



金魚の尾びれのような花
（2021年5月30日撮影）

◆金魚草より小さい「姫」金魚草

リナリアの属名「*Linaria*（リナリア）」は、ギリシア語の「linon（亜麻（あま）という植物）」を語源とし、細長い葉の形が亜麻の葉に似ていることにちなみます。また、和名の「ヒメキンギョソウ」は、同じオオバコ科の「キンギョソウ（金魚草）」を小さくしたような花姿に由来します。

◆寄っても、引いても、写真映えます

リナリアの花畑は、写真撮影にもおすすめです。カラフルな花の一つ一つに寄って写真を撮ると、小さな金魚のような可愛らしさ。また、ポートレートの背景にすると、やわらかな色合いが主役を一段と引き立てます。リナリアの花言葉は「この恋に気づいて」。少女の恋心のような、可愛らしく繊細な一枚を。



パステルカラーの背景
（2021年5月30日撮影）

Information

大草原北側花畑で
カワオルニアポピーが咲いています。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>